

# 万行寺寺報

Mangyoji Jihō

発行  
浄土真宗本願寺派 万行寺  
住職 山崎信充  
〒385-0003  
長野県佐久市下平尾461-1  
電話 0267-67-2460

2025(令和7)年

仏暦2568年

12月号

(第171号)

実践運動 総合テーマ『そとつながる ホッがつたわる～結ぶ絆から、広がるご縁へ～』



## 住職 法話

### 還ってこれれ衆生を救う



正信念仏偈に学ぶ  
遊煩惱林現神通  
入生死園示応化  
煩惱の林に遊んで神通を  
現じ、生死の園に入りて  
応化を示すといへり。

「現代語訳」  
さらに迷いの世界に還り、  
神通力をあらわして自在に  
衆生を救うことができる  
と述べられた。

引き続き、天親菩薩の『浄土論』から、この句は五種の功德を成就する第五の門「園林遊戯地門」によります。親鸞さまは『教行信証』に、  
出の第五門とは、大慈悲の心をもつて、苦しみ悩むすべての衆生を觀じて、救うためのさまざまなすがたを現し、煩惱に満ちた迷いの世界に還つてきて、神通力をもつて思いのままに衆生を教え導く位に至ることである。このような

はたらきは、阿弥陀仏の本願力の回向によるのである。これを出の第五門という。  
と『浄土論』を引かれています。煩惱に満ちた迷いの世界を、煩惱が林のように茂る「煩惱林」、そして苦悩に満ちた生死の園「生死園」とたとえられました。  
そして、五種の門について、これまでの四つの門は「門に入る」と自身の徳(自力)でしたが、ここでは「門を出る」と阿弥陀仏の本願力回向による利他のはたらきを示されています。  
ここまでの句を整理します。  
歸入功德大宝海  
必獲入大会衆数  
私たちがこの世で必ず救われる身にならせていただけるという利益になります。  
得至蓮華藏世界  
即証真如法性身  
この世での縁が尽きた時に、浄土に往生し直ちに仏さまにならせていただけるという利益になります。

そして、この句では、浄土に往生すると、「煩惱林」「生死園」といわれるこの娑婆に還つてこれれ衆生を救うという利益になります。「煩惱の林に遊んで」と言われるように、それこそ子どもが遊ぶように自由に飛び回る神通力を持って、苦しみ悩む私たちを救ってくださると言われるのです。  
お葬式の場合などで、故人の遺徳を偲ぶ意味で弔辞が読まれることがあります。この弔辞に、生前の姿を氣にかける意味もこめて、「ゆっくり休んでください」といわれる方もおられます。しかし、お浄土ではのんびりとしていられないようです。亡くなったと同時に、この迷いに満ちた世界へ還つて来られて、苦しみを私たちを救ってくださる力を持たれるのです。最近では、お孫さんの弔辞もあるようで涙を誘いますが、「お爺ちゃん見守ってください」といった言葉が一番ふさわしいのでしょうか。

# 仏教語豆事典

## 悪事千里を走る

戦争もリアルタイムに

戦争が勃発すると、戦場の悲惨な場面を逐一茶の間のテレビに映し出すようになったはじめは、1991年の湾岸戦争でした。この戦争の特徴は、ハイテクの使用とテレビ戦争でした。

以来、2001年のアメリカ同時多発テロ事件のときには、まるで実況中継でしたし、その後の世界各地での戦争状況もマスメディアを通じて世界中に伝えられています。

まさに「悪事千里を走る」です。

この「諺」は、悪い行いはすぐ世間に知れ渡る、という意味ですが、戦争という悪事は地球上を駆けめぐりました。

『景德伝燈録』に、「好事門を出でず、悪事千里を行く」とあるのが、この「諺」のもとです。

好いことはなかなか世に知られないが、悪いことはすぐに広まる。それが世相である。だからこそ、達磨大師は好いことを伝えるために、インドから遠く中国までやってきたのである、というのです。

仏教は「不殺生戒」の立場から、「いのちを大切に」をスローガンにしています。

一日も早く、ほんとうの平和という好事が、千里といわず、地球上を駆けめぐってほしいものです。



## 諦め

ほんとうは力強い語

どうにもならないことをくよくよと考えないで断念することを「あきらめる」といいます。

お釈迦さまは、悟りを開かれた後、ベナレスのミガダーヤで五人の友人たちに、初めてその法を説かれました。初転法輪と呼ばれているのがそれで、その説法の内容が「四諦」の教えでした。

「諦」とは「まこと」とか「真理」という意味で、動詞として読むときには「あきらめる」、すなわち、明らかに真実をみるという意味なのです。

お釈迦さまはその悟りの内容を、苦諦・集諦・滅諦・道諦の四つの真理に分けて教え、それを見ることによって、真理を知ることができる」と説かれました。

だから、「諦」という語は、現在のように消極的な使い方ではなく、真理を悟るという力強い語なのです。

しかし、そのとき、自分一人の力ではどうにもならないことを悟るのが、本来の意味なのかも知れませんね。

諦 総画：16画 字音：テイ(環)・タイ(賢)くたい(愼)

- ①「あきら」から作る。「あきら」が、あきらめ。いろいろ観察を怠り、真実をばりさせる。また、は、きりしてやる。「諦観(クワン)」。
- ②「き」をこ。金銭をとりまわると見通した真諦。
- ③「あ」(4)真諦。また、悟り。④「あきら」める。しやたがない。またはでさきとして御事をやる。思ひやる

※漢字源より引用。

「くらしの仏教語豆事典」文・辻本敬順 絵・寄藤文平／本願寺出版社刊より

## 編集後記

今年も一年終わります。住職法話「正信念仏偈に学ぶ」は、丸三年になりました。◆仏教に興味ありと答えた方が一割という時代だそうです。「確かに」と納得する割合ですが、仏さまの教えを伝えつなげていくことを忘れずに続けていこうとあらためて決意します。



## 年忌法要表

1 周忌	2024(令和 6)年	23 回忌	2003(平成15)年
3 回忌	2023(令和 5)年	25 回忌	2001(平成13)年
7 回忌	2019(令和 1)年	27 回忌	1999(平成11)年
13 回忌	2013(平成25)年	33 回忌	1993(平成 5)年
17 回忌	2009(平成21)年	50 回忌	1976(昭和51)年